

# 「こまきプレミアム商品券」市民アンケートの結果について

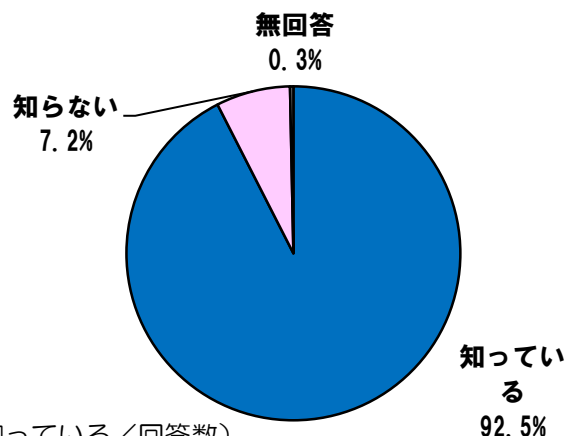
## 1. 実施概要

- (1) 実施目的 : 今後の商品券事業の参考にするため
- (2) 対象者 : 平成31年1月1日現在、小牧市内に1年以上居住する16歳以上3,000人(無作為抽出)
- (3) 実施期間 : 平成31年3月1日から平成31年3月15日  
(令和元年5月14日到着分まで反映)
- (4) 回答数 : 回収数919 有効票数919 有効回答率30.6%

## 2. 実施結果

問1 あなたは、こまきプレミアム商品券事業をご存知ですか？

知っている	850	92.5%
知らない	66	7.2%
無回答	3	0.3%
合計	919	100.0%



年代別(知っている/回答数)

29歳以下	52/65	80.0%
30歳代	89/97	91.8%
40歳代	135/147	91.8%
50歳代	127/134	94.8%
60歳代	197/205	96.1%
70歳代	197/205	96.1%
80歳以上	52/62	83.9%
無回答	1/4	25.0%
全体	850/919	92.5%

地区別(知っている/回答数)

小牧	338/359	94.2%
味岡	177/189	93.7%
篠岡	234/253	92.5%
北里	97/110	88.2%
無回答	4/8	50.0%
全体	850/919	92.5%

地区分け(小学校区)

小牧地区	小牧、村中、三ツ淵、小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

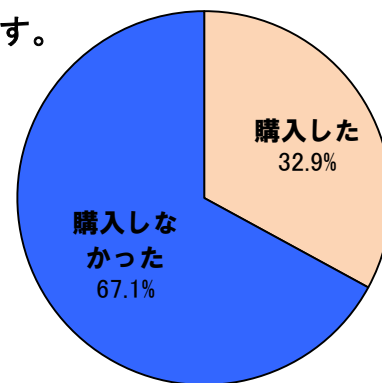
■92.5% (H24:79.0%、H25:80.9%、H26:88.4%、H27:91.5%、H28:90.1%、H29:91.5%)の方が「知っている」と回答しています。平成29年度の91.5%から1.0%上昇し、事業の継続とともに認知度も上昇しております。

■年代別では29歳以下の方の認知度が、80.0%(H24:55.2%、H25:55.8%、H26:70.4%、H27:69.0%、H28:70.7%、H29:67.2%)と他の年代と比較すると認知度が低いものの、上昇しております。地区別では、4地区とも認知度が9割前後ありますが、引続き、年代、地域などの特性にあったPR方法を行っていく必要があります。

問2 問1で「1 知っている」と回答した方にお聞きします。

あなたは、平成30年度に販売した、プレミアム商品券を  
購入されましたか？

購入した	280	32.9%
購入しなかった	570	67.1%
合計	850	100.0%



年代別（購入した／知っている）

29歳以下	15/52	28.8%
30歳代	26/89	29.2%
40歳代	47/135	34.8%
50歳代	40/127	31.5%
60歳代	65/197	33.0%
70歳代	72/197	36.5%
80歳以上	15/52	28.8%
回答なし	0/1	0.0%
全体	280/850	32.9%

地区別（購入した／知っている）

小牧	122/338	36.1%
味岡	61/177	34.5%
篠岡	62/234	26.5%
北里	35/97	36.1%
回答なし	0/4	0.0%
全体	280/850	32.9%

地区分け（小学校区）

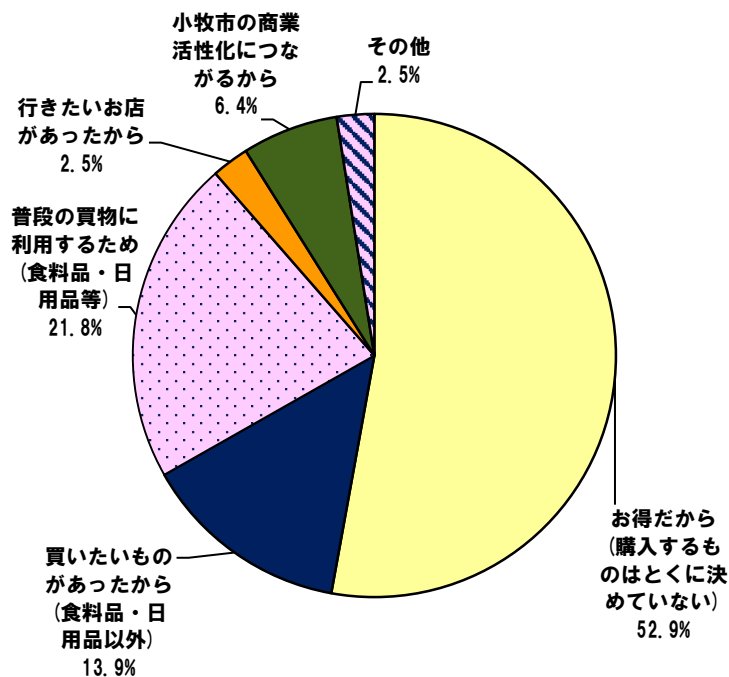
小牧地区	小牧、村中、三ツ渕、 小牧南、米野、小牧原
味岡地区	味岡、一色、本庄
篠岡地区	篠岡、桃ヶ丘、陶、 光ヶ丘、大城
北里地区	北里、小木

■商品券の購入状況について、「購入した」が32.9%（H24：21.6%、H25：19.8%、H26：21.1%、H27：29.1%（特別予約枠申込中 7.8%分別にあり）、H28：27.7%、H29：38.3%）となっております。前年度と比較して5.4%減少しています。

（注：各年度においてアンケートの対象者数は同じですが、商品券の発行額や流通額は、各年度により差異があります。）  
■年代別では、すべての年代において3割前後の方が商品券の購入をしています。年代間の差が前年度までに比べ、縮まっています。地区別では篠岡地区が他の地域と比較して商品券の購入者割合が低くなっており、購入者の年齢層や地区に偏りが無いようPR方法や販売体制の改善及び強化に努める必要があります。

問3 問2で「1 購入した」と回答した方にお聞きします。  
あなたが、プレミアム商品券を購入した動機は何ですか？

お得だから(購入するものはとくに決めていない)	148	52.9%
買いたいものがあったから(食料品・日用品以外)	39	13.9%
普段の買物に利用するため(食料品・日用品等)	61	21.8%
行きたいお店があったから	7	2.5%
小牧市の商業活性化につながるから	18	6.4%
その他	7	2.5%
合計	280	100.0%



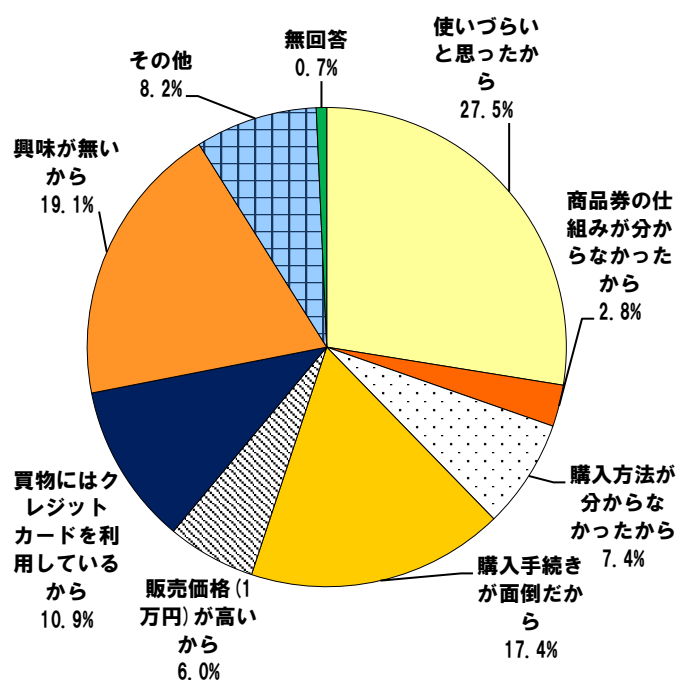
その他の意見（抜粋）

- ・知人・友人などに差し上げるお礼の品として利用した。
- ・自治会の盆踊りで抽選会の賞品や期末の役職員へ御礼として手配した。
- ・年金生活なので少しでも活用して助かっています。
- ・子供が中学入学で制服を地元のお店で購入するため。

■購入したと回答した方のうち「買いたいものがあったから(食料品・日用品以外)」が13.9%、「小牧市の商業活性化につながるから」が6.4%と普段の買い物以外の消費喚起や市民の商業活性化への意識向上に一定程度繋がっていると考えられます。

問4 問2で「2 購入しなかった」と回答した方にお聞きします。  
あなたが、プレミアム商品券を購入しなかった理由は何ですか。

使いづらいと思ったから	157	27.5%
商品券の仕組みが分からなかったから	16	2.8%
購入方法が分からなかったから	42	7.4%
購入手続きが面倒だから	99	17.4%
販売価格(1万円)が高いから	34	6.0%
買物にはクレジットカードを利用しているから	62	10.9%
興味が無いから	109	19.1%
その他	47	8.2%
無回答	4	0.7%
合計	570	100.0%



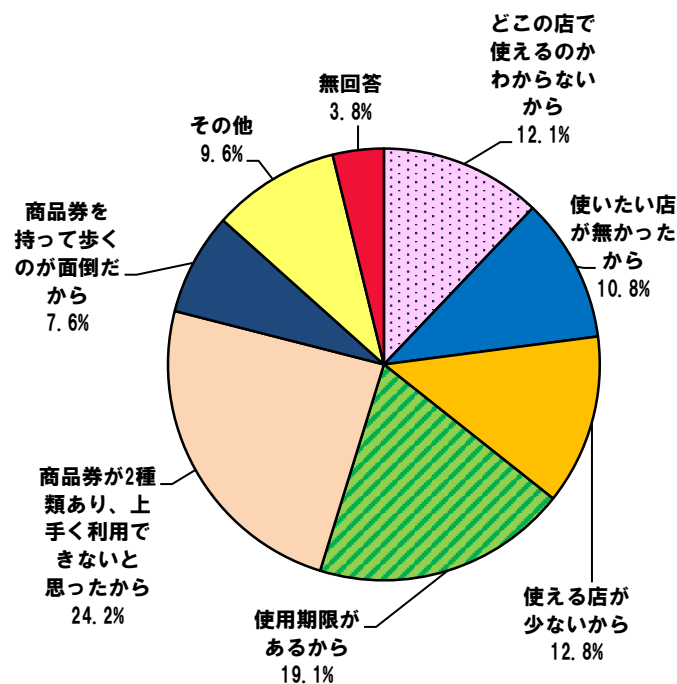
その他の意見（抜粋）

- ・商品券を利用して買いたいと思う目的の物が無かった。
- ・予約をしていたが、引換え期限内に行くことができなかったためキャンセルした。
- ・近くに買える所がないから。
- ・い〜なも券が使いづらいから。
- ・え〜なも券、い〜なも券という名前がダサいから。
- ・市の中心から離れたところに住んでいるため、利用できる店舗が少ないから。
- ・普段はクレジットカード使用でポイントカードや割引の面からも10%のプレミアムでは少ない。
- ・小牧市内であまり買い物をしないから。
- ・期限内に使いきれぬかが不安なため。
- ・以前購入した際に使い切るために、無駄な買い物をした経験があるため。
- ・購入を忘れてしまった。
- ・現金で買い物をしているため。
- ・使用期限が短いから。
- ・子どもが小さいため、並んで購入することが困難だから。

■商品券事業を知っているが購入しなかった主な理由は、過去の調査傾向と同様に「使いづらいと思ったから」27.5%（H24：42.5%、H25：34.4%、H26：37.1%、H27：35.7%、H28：27.3%、H29：23.4%）、「興味が無いから」19.1%（H24：20.7%、H25：27.2%、H26：21.3%、H27：16.2%、H28：18.9%、H29：17.7%）が約半数を占めています。商品券の使用方法やメリットの周知活動を改善及び強化するとともに、販売及び使用方法について検討を行い、商品券事業の魅力を高める必要があります。

問5 問4で「1 使いづらいと思ったから」と回答した方にお聞きします。  
あなたが、使いづらいと思った理由は何ですか？

どこの店で使えるのかわからないから	19	12.1%
使いたい店が無かったから	17	10.8%
使える店が少ないから	20	12.8%
使用期限があるから	30	19.1%
商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから	38	24.2%
商品券を持って歩くのが面倒だから	12	7.6%
その他	15	9.6%
無回答	6	3.8%
合計	157	100.0%



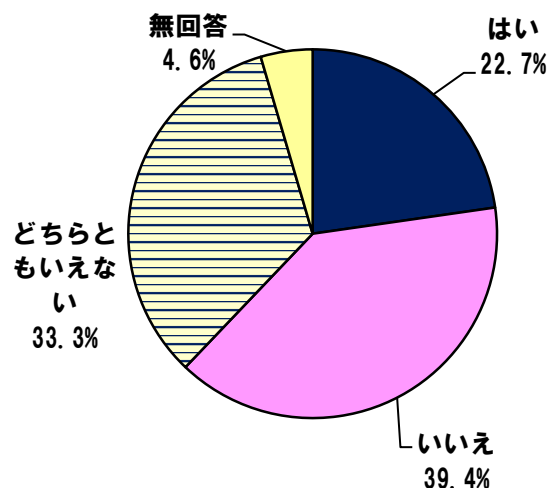
#### その他の意見（抜粋）

- ・店が制限されるい〜なも券は枚数も多いし使いづらく、期限間際に無駄な買い物をしてしまうから。
- ・商品券はお釣りが貰えないので持っている商品券の額より高い買物になるため。
- ・市外での買い物等をするが多いため。
- ・足が不自由なので購入が面倒。
- ・忙しいので加盟店まで行く事ができない。
- ・え〜なも券のみなら購入したい。
- ・他県から来たため、店の名前を見てもわからない。住所を調べてまで行く気になれないから。

■「使いづらいと思ったから」の主な理由は、「商品券が2種類あり、うまく利用できないと思ったから」24.2%（H24：31.6%、H25：29.3%、H26：30.3%、H27：38.1%、H28：29.7%、H29：31.0%）、「使用期限があるから」19.1%（H24：31.2%、H25：23.6%、H26：34.7%、H27：31.5%、H28：31.9%、H29：22.5%）といずれも回答割合は減少しています。消費需要を捉えた利用期間の設定や商品券の具体的な使用方法のさらなるPRに努める必要があります。また「使える店が少ないから」12.8%、「どこの店で使えるのかわからないから」12.1%「使いたい店が無かったから」10.8%と加盟店に関する合計が35.7%となっており、加盟店の増加や幅広い業種の参加が求められます。

問6 問1で「2 知らない」と回答した方にお聞きします。  
表紙のプレミアム商品券の概要をご覧になって、興味を持たれましたか？

はい	15	22.7%
いいえ	26	39.4%
どちらともいえない	22	33.3%
無回答	3	4.6%
合計	66	100.0%

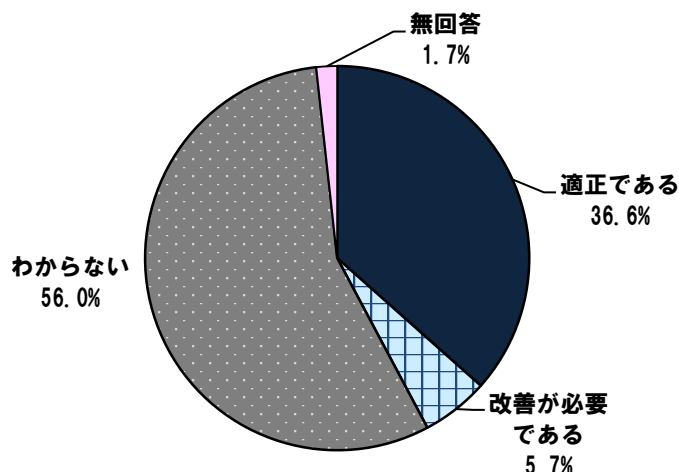


■昨年度新たに追加した設問で、商品券を「知らない」と回答した方に対してアンケート表紙の概要を読んで興味を持たれたかをお聞きしたところ22.7%（H29：15.6%）の方が「はい」と回答されました。商品券を知らない方への周知方法について検討し、より多くの方に興味を持っていただけるようPR活動の改善・強化や商品券の魅力向上の必要があります。

問7 全ての方にお聞きします。

平成30年度は市民限定の予約販売の上限数を昨年の4セットから5セットにしました。このことについてお聞きします。

適正である	336	36.6%
改善が必要である	52	5.7%
わからない	515	56.0%
無回答	16	1.7%
合計	919	100.0%



改善が必要であると回答した方の具体的な内容（一部抜粋）

- ・一人住まいの場合、希望すれば上限を8セット程度まで上げて欲しい。
- ・皆が買えて、うまく使えるように3000円で3300円にし、1人3セットまでにすべき。
- ・たくさん欲しい方には使わせてあげればよい。
- ・増やしても期限があるなら変わらない。
- ・小牧市全体広い区域で使用できないなら増やす必要がないと思う。
- ・高額支払いの際に使用したいので、1人10セットまで拡大して欲しい。
- ・過剰が出た場合は追加購入できるようにして欲しい。
- ・上限を増やすことは税金の公正公平な利用に反するのではないか。
- ・多くの方が購入できるように4セットのままで良い。
- ・公平にサービスが行われるよう予約販売のセット数は1人1セットに限るようにした方が良い。
- ・市外在住者に購入権を与えるのなら、市民が一般販売で上限以上購入できるようにすべきである。

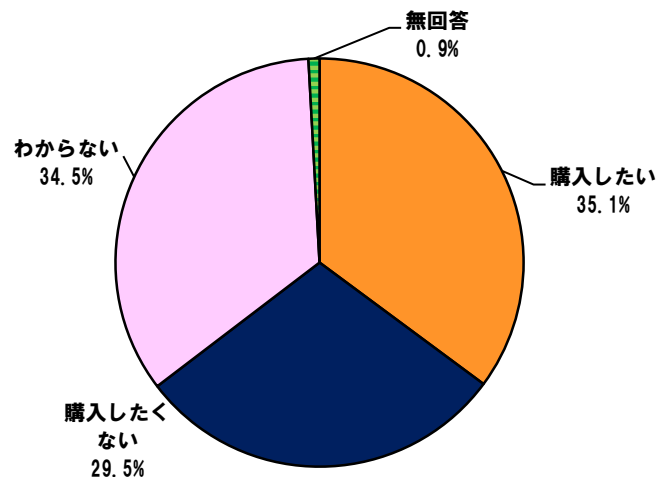
■今年度新たに追加した設問で、平成30年度は市民限定の予約販売の上限数を昨年の4セットから5セットにしたことについてお聞きしました。半数以上の方が「わからない」と回答し、「適正である」36.6%、「改善が必要である」5.7%でした。今後も販売方法について検討していく必要があります。



問8 全ての方にお聞きします。

平成31年度もプレミアム商品券を発行する予定です。あなたは購入したいと思いますか？

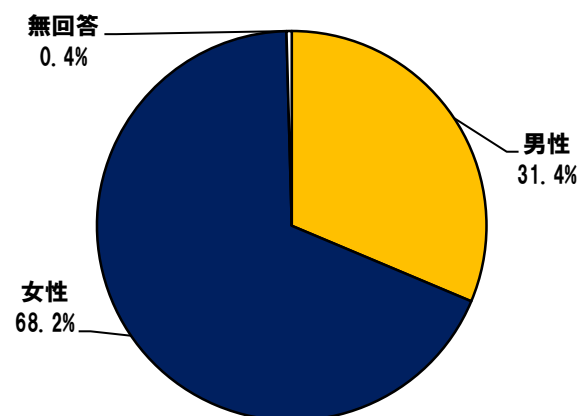
購入したい	323	35.1%
購入したくない	271	29.5%
わからない	317	34.5%
無回答	8	0.9%
合計	919	100.0%



■平成31年度発行における商品券購入については、「購入したい」35.1%（H24：27.0%、H25：25.8%、H26：26.8%、H27：42.3%、H28：34.9%、H29：38.8%）、「購入したくない」29.5%（H24：25.0%、H25：28.5%、H26：27.3%、H27：18.1%、H28：23.0%、H29：26.0%）となっております。前年度と比較すると、「購入したい」と回答された方が3.7%減少し、「購入したくない」と回答された方が3.5%増加しています。商品券事業の魅力を高め、販売に繋げていく必要があります。

問9 あなたの性別をお聞かせください。

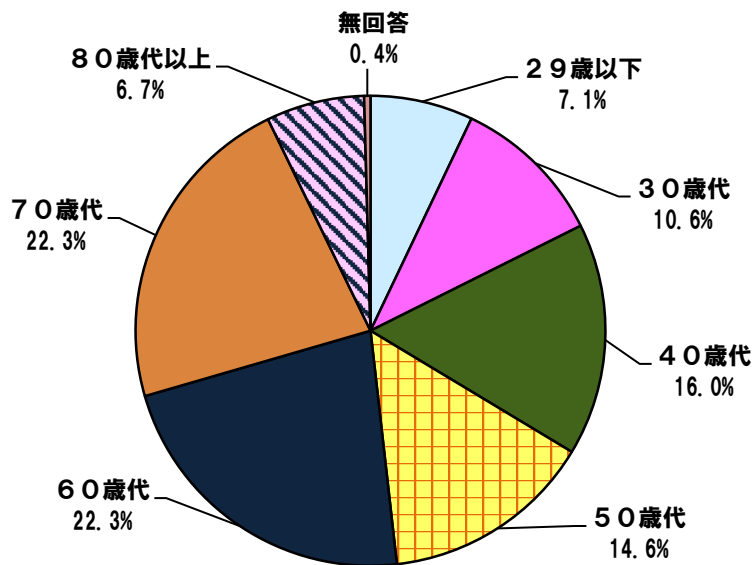
男性	288	31.4%
女性	627	68.2%
無回答	4	0.4%
合計	919	100.0%





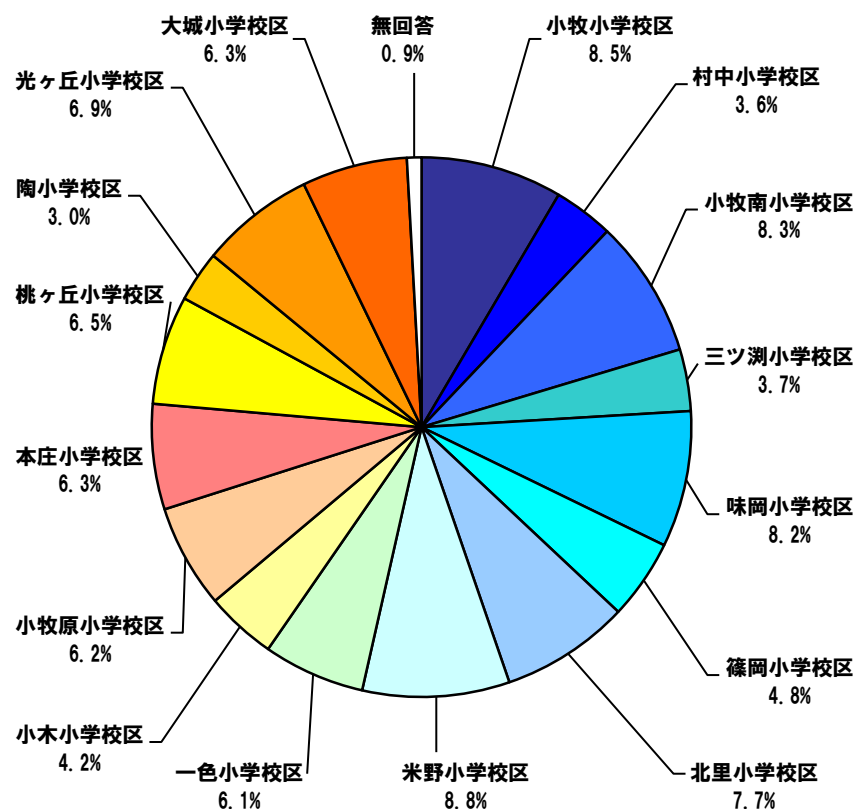
問 1 0 あなたの年齢をお聞かせください。

29 歳以下	65	7.1%
30 歳代	97	10.6%
40 歳代	147	16.0%
50 歳代	134	14.6%
60 歳代	205	22.3%
70 歳代	205	22.3%
80 歳以上	62	6.7%
無回答	4	0.4%
合計	919	100.0%



問 1 1 あなたのお住まいはどちらですか。

小牧小学校区	78	8.5%
村中小学校区	33	3.6%
小牧南小学校区	76	8.3%
三ツ淵小学校区	34	3.7%
味噌小学校区	75	8.2%
篠岡小学校区	44	4.8%
北里小学校区	71	7.7%
米野小学校区	81	8.8%
一色小学校区	56	6.1%
小木小学校区	39	4.2%
小牧原小学校区	57	6.2%
本庄小学校区	58	6.3%
桃ヶ丘小学校区	60	6.5%
陶小学校区	28	3.0%
光ヶ丘小学校区	63	6.9%
大城小学校区	58	6.3%
無回答	8	0.9%
合計	919	100.0%



## 商品券事業についての自由意見（抜粋）

- 購入方法を早めに知らせて欲しい。
- もっと周知活動をして欲しい。
- どこでも購入できるようにして欲しい。
- スーパーで商品券を購入できるようにして欲しい。
- 土日でも購入できるようにして欲しい。
- ハガキで購入できる様にしてほしい。
- 子どもがいると予約に並ぶことができないので、公平に抽選販売にして欲しい。
- 期限が短いのもっと長くして欲しい。
- 入学準備に使えるように期限を3月末まで延長して欲しい。
- チャージ式のプリペイド、QR決済、電子決済、ICカードなどにして欲しい。
- 1枚が分厚くかさばるので薄くして欲しい。
- 紙が滑って数えにくかったので材質を変えて欲しい。
- おつりが出ないから、100円券も欲しい。
- 1枚500円だと細かすぎて使いづらい。全部でなくていいので例えば半分は1000円券だと使い易いと思う。
- 販売価格が高い3000円、5000円でも買えるといいと思う。
- え〜なも券とい〜なも券を統一して欲しい。
- 加盟店の旗が年中揚がっているの、使用可能期間に限定すべき。
- 加盟店を分かりやすくして欲しい。
- 加盟店を増やして欲しい。
- ガソリンスタンドが増えると良い。
- コンビニで使えるようにして欲しい。
- ネットショッピングにも対応して欲しい。
- お店がレジを閉めてしまい使えないことがあったので、営業時間中は使用できるようにお店に指導をして欲しい。
- 利用で一部が募金されるなど、得と社会貢献がセットになっていると良い。
- 地域の業者の活性化に繋がっているのか疑問。効果が見える化して、出ていないなら廃止すべき。
- 不公平な事業は廃止して他の事にお金を使って欲しい。
- 余分なものまで購入してしまうので、商品券はあまり使いたくない。
- 小牧市の税金を使用しているのに、市外の人が購入しているのはおかしい。
- プレミアム率がもっと上がると良い。

### 3. 総括

今回の市民アンケートの結果からうかがえる市民の商品券事業に対する認識やその課題に付きましては、過去の調査とほぼ同様なものとなりましたが、プレミアム商品券を「知っている」と回答された方が29歳以下で80.0%と、前年度の67.2%から12.8%改善しました。これは若年層の認知度が低いことを踏まえ、平成30年度はフェイスブック、ツイッター、LINE等のSNSを通じた周知活動を行ったことが要因の一つになったと考えます。また平成30年度は全体としても引き続き9割を超える方がプレミアム商品券を認知していることが分かりました。

しかし、次回の商品券購入については平成29年度の調査では38.8%の方が「購入したい」と回答されたのに対して、今回の調査では35.1%と減少しました。これは、平成29年度販売分では国の特例措置を受け利用期間が7月～2月だったのに対して、30年度では9月～2月までと利用期間が2ヶ月短くなったことが要因のひとつであると考えます。国の交付金等を活用して全国的にプレミアム商品券が販売され、マスコミ等でも多くの報道がなされ一時的に過熱した平成27年度を除き、それ以前は次回商品券を購入したいと思う市民は3割を切っていたことから、認知度の上昇とともに購入したいと思う市民の割合は増加傾向にあるといえます。今後もより多くの方に商品券を購入していただけるよう商品券の魅力を上向きさせるため、次の課題について対応を検討する必要があります。

1点目として、商品券を知っていても購入しなかった方の割合が67.1%と、前年度の61.7%から増加している点です。その理由としては「使いづらいと思ったから」「興味が無いから」「購入手続きが面倒だから」が多く回答されました。使いづらいと思う理由としては「商品券が2種類あり、上手く利用できないと思ったから」が最も多く、これに「使用期限があるから」が続き、「どこの店で使えるのかわからないから」「使いたい店が無かったから」「使える店が少ないから」といった加盟店に関する理由が前年度と同様に3つ合計で35.7%を占めました。これらのことから消費需要を捉えた利用期間の設定、幅広い業種の店舗の参加や各地区における加盟店の増加、日常生活用品など生活関連の店舗などの加盟状況や具体的使用方法及びメリットのPR、商品券事業を利用した各加盟店における独自の取組みなど商品券事業の魅力さをさらに高める必要があります。

2点目として、商品券事業を「知らない」と回答された方で29歳以下の割合が前年度から大幅に改善されたものの依然として他の年代と比較すると大きい点です。さらに、知っているも購入しなかった方について、年代別では29歳以下、地区別では篠岡地区が高い傾向となっていることから、若年層への需要を喚起するため普及率が高いスマートフォンなど携帯端末を活用したPR魅力を感じる取組みを強化する必要があると考えられます。また、篠岡地区については、引続き、販売店・加盟店が増えるよう未加盟店舗への更なるPRと、販売時期などについて市広報や新聞など情報媒体での周知活動ほか、各店舗における一層のPRが必要であると考えております。また、今回の調査では80歳以上の認知度も低く、購入している割合も低い傾向にあることがわかりました。年代や地区に偏り無く購入したいと思っただき、小牧市の商業活性化に繋げる商品券事業にしていくことが重要であると考えております。

これらのことから、「こまきプレミアム商品券事業」について、世代や地区など対象とする市民に応じた幅広い方法により、わかりやすい内容でPRを行うとともに、引続き小牧商工会議所と連携し、商品券販売の方法・体制の改善と強化、新規加盟店の増加に努め、さらに各加盟店における商品券活用などの取組みにより、商品券事業の魅力さをさらに高めてまいりたいと考えております。